

# 福島第一原子力発電所の状況

2016年1月19日  
東京電力株式会社

## <1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (1/19 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m <sup>3</sup> /h	16.1 °C	0.75 kPa g	A系： 0.03 vol%
		炉心スプレイ系：約1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.01 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.9 m <sup>3</sup> /h	20.8 °C	4.99 kPa g	A系： 0.03 vol%
		炉心スプレイ系：約2.4 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.01 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m <sup>3</sup> /h	19.2 °C	0.22 kPa g	A系： 0.09 vol%
		炉心スプレイ系：約2.3 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.07 vol%

\*2号機および3号機原子炉格納容器ガス管理設備については、信頼性向上を目的に、配管の一部に使用しているフレキシブルチューブおよび樹脂製ホースの鋼管化作業を行う。当該作業では、必要に応じて設備の停止となるので、設備停止中は特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ特定原子炉施設の保安」(以下、「実施計画」という)第1編第24条の表24-1に定める運転上の制限「原子炉格納容器ガス管理設備の放射線検出器が1チャンネル動作可能であること」を満足しない状態となることから、実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、計画的に運転上の制限外に移行して作業を実施。3号機原子炉格納容器ガス管理設備については1/18 9:31から作業を開始。作業が終了したことから、同日16:07、当該設備を起動。その後、当該設備の動作確認において異常がないこと、短半減期核種の指示値に有意な変動がないことから、同日19:04、同項の適用を解除。なお、当該設備の停止期間における関連監視パラメータについて、異常なし。

## <2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (1/19 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	11.8 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	28.0 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	18.4 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	7.9 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルヘドヒドランジンの注入を適宜実施。

## <3. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (1/19 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 \*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## <4. その他>

- 2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
- 2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- 2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。

- ・2016/1/19～1/21 各建屋に接続しているトレンチ・ダクト内の滞留水状況調査の一環として、2015/12/3 に採取した廃棄物処理建屋間連絡ダクト滞留水の、放射性物質濃度分析結果が上昇。原因調査のため、2016/1/19 11:23 当該ダクトからプロセス主建屋への滞留水の移送を開始。なお、当該移送については、1/21 まで断続的に実施。

#### 【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

1号機原子炉建屋カバー（以下、建屋カバー）解体作業を開始。

- ・2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
  - 7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
  - 7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。
- ・2016/1/8～ 支障鉄骨の解体作業を開始。

#### 【サブドレン他水処理施設の状況】

・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。

9/17～サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。

- ・一時貯水タンクGの当社および第三者機関による分析結果[採取日 2016/1/7]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、1/18 10:39～16:09 に海洋へ排水を実施。排水量は789 m<sup>3</sup>
- ・一時貯水タンクAの当社および第三者機関による分析結果[採取日 2016/1/11]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、1/19 10:15～15:36 に海洋へ排水を実施。排水量は765 m<sup>3</sup>

#### 【地下水バイパスの状況】

・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

- ・一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析の結果[採取日 2016/1/7]、共に運用値を満足していたことから1/20 海洋への排水を開始予定。

#### 【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- ・今回の分析結果については、悪天候のため採取を中止。

#### 【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上